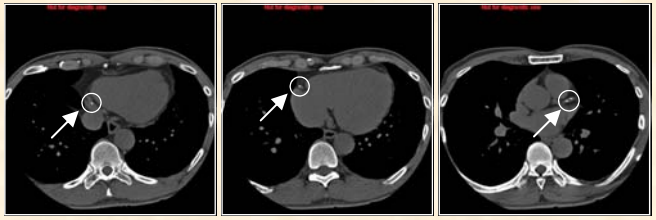
【狭心症・心筋梗塞症と冠動脈単純ＣＴ検査の概要】

狭心症・心筋梗塞症をはじめとする虚血性心疾患は、日本において悪性新生物に続く第２位の死因となっており、その発生頻度は急増と若年化の一途をたどっています。心筋梗塞症の原因は、心臓の筋肉に血液を供給する「冠動脈」の動脈硬化です。動脈硬化により血管は衰えて弾力性をなくし、石灰化や血栓形成のために固く狭くなっていきます。高血圧症・脂質異常症・糖尿病・高尿酸血症・肥満などの生活習慣病は、「冠動脈」の動脈硬化を進行させます。冠動脈　造影ＣＴ検査は，従来行われていた冠動脈造影検査に比べ低侵襲で安価（約１／３）であり、心臓ドックの一環として行っています。しかしながら、造影剤を使用するなど、わずかですがお体にご負担をかけるため、いまだ気軽には受けにくいと考えられています。

今回、当センターでは新しい検査方法として、造影剤を用いることなく冠動脈石灰化を診る**冠動脈単純ＣＴ検査**を行い、冠動脈硬化の進行を評価する心臓検診をはじめました。

当センターでは最新鋭の６４列ＭＤＣＴを使用し、冠動脈ＣＴ検査に関して十分な経験と実績を有しています。検診の結果で、精密検査や治療の必要が生じた場合には、当センターで迅速に対応できますので安心して検診を受けて頂けると思います。

【典型的な症例】



この症例は、54歳・男性・身長170cm・体重62kg・BMI21.5で平均的な体型で、不整脈と高脂血症の診断名があり、時折胸部圧迫感の自覚症状を訴えたため、CTによる冠動脈血管造影を施行しました。画像は、単純ＣＴの断面図で、石灰化（丸印）が、確認出来ます。これを数値化（カルシュウムスコアリング）して血管狭窄の判別をしました。

その結果、冠動脈疾患を有する可能性が高い数値を示し、冠動脈３枝すべてに高度に血管の狭窄を認めたため、その後、心臓カテーテル手術を実施しています。

循環器疾患専門施設

循環器科(狭心症・心筋梗塞・心臓病全般・PCI等)

草津ハートセンター

5250014滋賀県草津市駒井沢町407-1
Tel;077-568-5333　Fax;077-568-5335
http://www.kusatsu-heartcenter.co.jp/
info@kusatsu-heartcenter.co.jp

心臓健診のごあんない

草津ハートセンター

心臓健診のご案内

Step1

身体測定

身長・体重・血圧を測定します。

Step3

血圧脈波測定

四肢の血圧を測定し、動脈硬化や末梢血管の狭窄を診断します。（ABI検査）

冠動脈ＣＴ検査、諸検査の流れ

Step2

診察問診

検査に先がけて診察を行います。

Step4

心電図検査

安静時の心電図をとります。

Step5

冠動脈単純CT検査

冠動脈を撮影し、冠動脈の石灰化を数値化して、診断します。

料金（税込）10,500円

この検診には、身体測定、診察、問診、心電図検査、血圧脈波検査、冠動脈単純ＣＴ検査が含まれます。

64列マルチスライスCTのご案内

最新の心臓健診を低侵襲（造影なし）で、しかも、安価に検査が受けられます！！　この機会に、是非、ご受診下さい。

【表の解説】

右の表で、冠動脈に石灰化が認められない場合、９９％以上の確率で有意な狭窄は認められなかったが、それに対して石灰化が認められた場合では、５０％を超える確率で有意な狭窄が認められました。更に、年齢が５０歳を超えると石灰化を認める人が急激に増加し、有意な狭窄が認められる確率も高くなって行くことが確認されました。また、多くの論文でその石灰化が冠動脈疾患の除外診断に有用であると言われていますが、当センターの臨床データでもそれが確認されました。

高血圧症、脂質異常症、糖尿病、高尿酸血症、肥満などの生活習慣病をお持ちの方や、５０歳以上の方は、一度冠動脈硬化のチェックをしてみてはいかがでしょうか。

【冠動脈の石灰化と有意狭窄の関係】

	石灰化なし		石灰化あり	
	患者数	狭窄有り	患者数	狭窄有り
年齢(49歳以下)	13	0 (0.0%)	0	0 (0.0%)
年齢(50歳代)	35	0 (0.0%)	23	14 (60.9%)
年齢(60歳代)	45	1 (2.2%)	59	24 (40.7%)
年齢(70歳代)	11	0 (0.0%)	52	27 (51.9%)
年齢(80歳以上)	1	0 (0.0%)	12	9 (75.0%)
全年齢	*105*	*1 (1.0%)*	*146*	*74 (50.7%)*

＊有意な狭窄＝50%を超える狭窄とした。（2009年1月～8月、冠動脈CT検査を施行した当院、251症例の統計より）